

令和3年度東御市民病院重点事業（実績）

1、新型コロナウイルス対策

公立病院として、可能な限りの診療を行っていくとともに、院内感染を防止するための対策を徹底する。

(1) 検査体制の整備

PCR検査および抗原検査、更には感染者の重症度評価を実施する体制の強化

キーワード	実施内容、前年度比較、等
検査（遺伝子、抗原等）の実施	検査数：2,471件 <R2:448件>
振分診察の実施	診察数：148件 <R2:0件>

(2) 入院患者の受け入れ

保健所から要請があった場合の、軽症から中等症患者の受け入れ態勢の構築

入院患者の受入	延べ患者数：467人 <R2:60人>
---------	---------------------

(3) ワクチン接種事業への協力

ワクチン接種の安心、安全な遂行、重度の副反応出現時の対応

集団接種へ医師、看護師の派遣	派遣日数：154日（5月17日～）
----------------	-------------------

(4) 感染症対応力の向上

職員の知識と技術の蓄積による、感染症対応力の向上と院内感染の防止策の徹底

院内感染防止対策の実施	対策会議：26回 研修会：2回 巡視：16回
感染症対応力の向上	業務継続計画（BCP）の作成、濃厚接触者の早期把握と早期対策

2、プライマリケア

出産・誕生から最期の時を迎えるまでの健康上の問題や患者の疾病に対して、プライマリケア「5つの理念」の視点で、全人的に対応する医療、福祉、保健サービスの提供体制を構築する。

(1) 診療体制等の再構築

① 新患の受け入れ改善、医療の質の向上、待ち時間の短縮等を目的とした診療体制の再構築

新患の受入れ増加対策	初診専門外来を設けて、新患の待ち時間の短縮を図った
医療の質の向上対策	評価指標の設定：医療の質の17指標を設定し、経年把握していく

② 継続的に受診している患者のきめ細かいフォロー体制の整備

患者意識の把握	患者満足度調査：1回
---------	------------

③ 発熱外来、オンライン診療、訪問診療など、患者や社会のニーズに対応した診療体制の整備

発熱外来、オンライン診療の実施	発熱外来：148件 <R2:80件> かりい診療：986 <R2:671件>
-----------------	--

④ 検診、ワクチン接種など、保健サービスの安定供給

人間ドック、健康診断の実施	受診者数：2,456人 <R2:2,333人>
行政委託検診の実施	受診者数：1,700人 <R2:集計なし>

(2) 救急への対応

時間外、1.5次救急に対応する、職員の意識改革とスキルの向上

時間外診療の受入	受入件数：236件 <R2:220件>
救急車の受入	受入件数（応需率）：429件（64%） <R2:326件（62%）>

3、地域包括ケアシステム

在宅療養支援病院として、開業医、介護施設等と連携し、24時間往診体制やレスパイト入院などサービス提供体制を整備する。

(1) 在宅支援サービスの提供

在宅サービス（訪問診療、訪問リハビリ、在宅療養者の入院、看取り等）の提供態勢の強化

在宅サービス提供患者数（3/末現在）	訪問診療：病院 14 人、診療所 76 人	訪問リハビリ：14 人
サービスの提供患者延数	レスパイト入院 3 人	在宅看取り：診療所 46 人

(2) 地域医療部の業務

① 上記（1）を充実するための、多職種連携および情報発信の強化

多職種連携会議の開催	薬剤師会連携会議 1 回
------------	--------------

② 地域の医療機関との診療等の紹介、逆紹介など、病診・病病連携の充実、強化

地域の医療機関との連携	患者の紹介：1,108 件 <R2:1,127件>
その他の地域連携	薬剤師会との「情報提供書」の作成

③ 温泉診療所とのシステムおよび各種運用の統一

電子カルテシステムの統一	システムの導入完了（運用はR4年10月～）
--------------	-----------------------

(3) IT化の検討

感染症のまん延や災害時に対応できる、ITシステム（オンライン会議、診療）他の検討

動画診療システムの整備	タブレット整備：7台
-------------	------------

4、教育、人材育成

(1) 職員の育成

① 医療従事者として必要な知識と、高い倫理観を習得するための研修の計画的な実施

研修会の実施	事故防止研修：2回、感染予防研修：2回、認知症対応研修：1回 看護補助者研修：1回、リハビリ科研修：3回、その他：5回 医局症例検討会：毎週火曜日、看護部奨励検討会：12回
職員の研修派遣	派遣先：健康福祉部 2名、訪問看護研修 1名、リハビリ研修 2名
学習環境の整備	医学文献検索サイトへの加入、図書室の整備

② 役付き職員のマネジメント能力（問題解決、目標管理）向上研修の実施

中間管理職研修の実施	研修 4 回、看護部目標管理講習 2 回、問題解決訓練 8 回
------------	---------------------------------

③ 適正、公平な人事評価の実施と、適材適所の人員配置で潜在能力の向上

医師人事評価制度の実施	施行期間から本格実施とした
人事評価面接手法の検討	面接時のポートフォリオ（目標設定と成長の記録）の採用
業務見直しによる効率化	眼科オペ件数 168 件 <R2:118件>

(2) 市民教育

様々な媒体を活用して、超高齢社会や本市特有の健康課題に対応する講座を実施

放送動画の作成	コロナ対策広報動画 8 本、各科講座 3 本（食、運動、糖尿病）
情報資料の作成	広報誌ひまわり 2 回、教育冊子 1（糖尿病）

(3) 次世代人材との交流

次世代を担う研修医、奨学生、看護学生などの研修の受け入れ、交流の実施

研修医、実習生の受入	研修医：4 人（小諸医療C）、実習生：佐久大学、松本大学
------------	------------------------------

令和3年度東御市病院事業 決算（速報値）

1、病院事業全体

○市単独補助金を繰入れることなく、78,021千円の黒字決算となりました。

（単位：千円）

収支項目	令和3年度	令和2年度	比較 (R3-R2)	R3決算の説明
事業収益 ①=㉞+㉟	2,008,574	1,874,691	133,883	
医業収益 ㉞	1,570,290	1,401,079	169,211	
(1) 入院収益	534,932	461,650	73,282	・患者数等 P5:別表1参照
(2) 外来収益	761,839	701,943	59,896	
(3) 他会計負担金	37,991	38,341	▲ 350	
(4) その他収益	235,528	199,145	36,383	
医業外収益 ㉟	438,284	473,612	▲ 35,328	・基準外繰入（市単独補助金） 0円 ※経営改善計画の目標値 ⇒1.6億円以下
(1) 他会計補助金	0	177,756	▲ 177,756	
(2) 他会計負担金	168,603	146,613	21,990	
(3) 長期前受金戻入	4,372	434	3,938	・基準内繰入 252,106千円
(4) 資本費繰入収益	45,512	44,576	936	
(5) その他収益	11,838	11,507	331	
(6) 補助金	207,959	92,726	115,233	・コロナ病床補助金 207,959千円
事業費用 ②=㉟+㊱	1,930,553	1,898,440	32,113	
医業費用 ㉟	1,848,328	1,816,191	32,137	
(1) 給与費	1,032,091	1,035,657	▲ 3,566	・給与費 P5:別表2参照
(2) 材料費	229,642	232,819	▲ 3,177	
(3) 経費	423,565	381,298	42,267	
(4) 減価償却費	144,684	146,552	▲ 1,868	・医療機器、施設の整備 P5:別表3参照
(5) 資産減耗費	16,815	18,258	▲ 1,443	
(6) 研究研修費	1,531	1,607	▲ 76	
医業外費用 ㊱	82,225	82,249	▲ 24	
事業損益 ①-②=㊲	78,021	▲ 23,749	101,770	

2、事業別収支

○病院3事業それぞれの決算状況は、下表のとおりです。

（単位：千円）

市民病院	収支項目	令和3年度	令和2年度	比較 (R3-R2)
	① 事業収益	1,830,777	1,544,514	286,263
	② 事業費用	1,752,096	1,716,508	35,588
	経常損益 ①-②	78,681	▲ 171,994	250,675
温泉診療所	収支項目	令和3年度	令和2年度	比較 (R3-R2)
	① 事業収益	138,483	129,333	9,150
	② 事業費用	103,139	105,089	▲ 1,950
	経常損益 ①-②	35,344	24,244	11,100
助産所	収支項目	令和3年度	令和2年度	比較 (R3-R2)
	① 事業収益	39,315	40,844	▲ 1,529
	② 事業費用	75,319	76,843	▲ 1,524
	経常損益 ①-②	▲ 36,004	▲ 35,999	▲ 5

令和4年度東御市民病院重点事業

1、新型コロナウイルス対策

院内感染を防止するための対策を徹底し、診療を継続する。

(1) 外来診療体制

オンライン診療を含めた、遺伝子検出検査（PCR・NEAR法）および抗原（定性・定量）検査、感染者の重症度評価を実施する体制の継続

(2) 入院治療体制

保健所からの要請に応じ、軽症から中等症患者の入院治療体制の維持

(3) ワクチン接種事業の推進

ワクチン接種に関する啓蒙活動、安心、安全な遂行、重度の副反応出現時の対応

(4) 感染症対応力の向上

新たな変異株の特徴を注視し、職員の知識・技術の蓄積、感染症専門医の協力により、感染症対応力の向上と院内感染の防止策を徹底

2、プライマリケア

出産・誕生から最期の時を迎えるまでの健康上の問題や患者の疾病に対して、プライマリケア「5つの理念」の視点で、全人的に対応する医療、福祉、保健サービスの提供体制を構築維持する。

(1) 診療体制

① 常勤医師の減少に伴う診療体制の再構築が必要

特にウィークポイントとなる外科・整形外科診療の改善（医師募集及び近隣医療機関との連携）

② 当院かかりつけ患者の病診連携を含めたフォロー体制のあり方についての検討

③ 発熱外来、オンライン診療、訪問診療など、患者や社会のニーズに対応した診療体制の発展

④ 検診、ワクチン接種など、保健サービスの供給

(2) 救急への対応

時間外、1.5次救急に対応するための診療体制の見直し

(3) 安全な透析診療

(4) リハビリテーション科業務強化

外来、入院、訪問、みまき温泉診療所他の医療機関・施設との連携、地域活動への参加

3、地域包括ケアシステム

在宅療養支援病院として、訪問診療、緊急時の患者受け入れ、レスパイト入院などのサービス提供体制を安定して運営する。

(1) 在宅支援サービスの提供

在宅サービス（訪問診療、訪問リハビリ、在宅療養者の入院、看取り等）の提供態勢の維持

(2) 地域医療部

① 上記（1）を充実するための、多職種連携および情報発信の強化

② 地域の医療機関との診療等の紹介、逆紹介など、病診・病病連携の充実、強化

③ 温泉診療所とのシステムおよび各種運用の統一と安定化

(3) 高齢者福祉拠点との連携準備

4、教育、人材育成

(1) 職員の育成

① 医療従事者として必要な知識と、高い倫理観を習得するための研修の計画的な実施

② 役付き職員のマネジメント能力（問題解決、目標管理）向上研修の実施

③ 適正、公平な人事評価の実施と、適材適所の人員配置で潜在能力の向上

(2) 市民教育

様々な媒体を活用して、高齢化社会や健康課題に対応する情報発信・啓蒙活動

(3) 次世代人材との交流

次世代を担う研修医、奨学生、医学生、看護学生などの研修の受け入れ、交流の実施

令和4年度東御市病院事業 予算

(単位：千円)

収支項目	令和4年度	令和3年度	比較 (R4-R3)	R4 予算の説明
事業収益 ①=㊦+㊧	1,944,054	1,936,362	7,692	
医業収益 ㊦	1,795,383	1,796,705	▲ 1,322	<ul style="list-style-type: none"> ・患者数等 別表1参照 ・基準外繰入 0円 ※経営改善計画の目標値 ⇒1.45億円以下 ・基準内繰入 150,000千円 ・コロナ病床補助金 1,000千円
(1) 入院収益	581,760	582,060	▲ 300	
(2) 外来収益	975,290	981,348	▲ 6,058	
(3) 他会計負担金	37,991	37,991	0	
(4) その他収益	200,342	195,306	5,036	
医業外収益 ㊧	148,671	139,657	9,014	
(1) 他会計補助金	0	0	0	
(2) 他会計負担金	76,009	76,009	0	
(3) 長期前受金戻入	11,916	3,902	8,014	
(4) 資本費繰入収益	36,000	36,000	0	
(5) その他収益	21,546	23,746	▲ 2,200	
(6) 補助金	3,200	0	3,200	
事業費用 ②=㊨+㊩	1,944,054	1,936,362	7,692	
医業費用 ㊨	1,911,115	1,902,923	8,192	<ul style="list-style-type: none"> ・給与費 別表2参照 ・医師確保対策委託 12,000千円 ・医療機器、施設の整備 別表3参照
(1) 給与費	1,062,192	1,058,081	4,111	
(2) 材料費	246,611	246,011	600	
(3) 経費	442,745	449,178	▲ 6,433	
(4) 減価償却費	153,883	143,969	9,914	
(5) 資産減耗費	200	200	0	
(6) 研究研修費	5,484	5,484	0	
医業外費用 ㊩	32,939	33,439	▲ 500	
事業損益 ①-②=㊰	0	0	0	

別表1「業務量の実績・予定」

(単位：人、%)

		令和2年度 実績	令和3年度 実績(R3/R2)	令和4年度 計画
病院	入院延数	14,561	15,940 (109.5)	17,520
	病床稼働率	66.5	72.8	80.0
	外来延数	54,939	58,426 (106.3)	63,180
	透析延数	7,833	7,777 (99.3)	8,505
診療所	外来延数	10,506	11,296 (107.5)	11,524
	訪問診療患者数	71	75 (105.6)	80
助産所	分娩者数	60	55 (91.7)	60
	ショートステイ	250	229 (91.6)	200

別表2「職員数」

(単位：人)

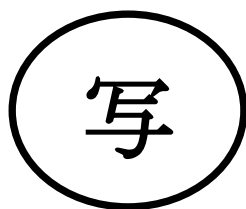
	令和3年度末		令和4年6月現在	
	正 職	会任職員	正 職	会任職員
医師	7	3	6	0
看護職(病院、診療所、助産所)	48 (42、0、6)	36 (33、1、2)	47 (41、1、5)	40 (37、1、2)
技術職	23	7	23	7
事務職	7	11	5	13
計	85	57	81	60

別表3:「主な建設改良事業」「企業債」

(単位：千円)

	令和3年度 実績		令和4年度 計画	
施設整備工事等	5,995	空調設備工事設計	191,545	空調設備更新工事
医療機器等整備	107,384	X線透視診断装置 診療所電子カルテ	173,560	MRI装置、血液分析装置 眼科レーザー治療装置

4病第10号
令和4年6月27日



東御市病院等運営協議会
会長 武藤芳照様

東御市長 花岡利夫

東御市病院事業第3次経営改善計画の進捗評価について（諮問）

東御市病院等運営協議会条例第1条の規定に基づき、次のとおり諮問します。

東御市病院事業第3次経営改善計画の令和3年度における進捗状況及び評価にあたり、貴協議会の意見を求めます。

（諮問理由）

市では、令和3年度から令和6年度までを計画期間とする「東御市病院事業第3次経営改善計画」に基づき病院経営の効率化、さらに新型コロナウイルス感染症への対応など、病院事業の改革に取り組んでおります。

本計画の策定時における貴協議会からの答申におきましても、付帯意見として「目標値に対する進捗管理を行い、PDCAサイクルを実行することで、本計画に基づく施策を着実に推進するとともに、進捗・効果検証の結果を広く市民へ分かりやすく公表していくこと。」との意見をいただいておりますので、第3次経営改善計画の令和3年度における進捗状況及び評価について、貴協議会の意見を求めます。

東御市病院事業第3次経営改善計画の令和3年度における進捗状況及び評価

1 計画の進捗状況

(1) 患者、診療の状況

① 市民病院

外来患者数は、計画値の104.5%を達成しましたが、入院患者数については、新型コロナウイルス感染症患者専用病床を確保し、一般患者用病床を減らしての病棟運営になったため、達成度は97%でした。

項目	内 訳	令和2年度 実績	令和3年度			令和6年度 最終目標	
			計画	実績	達成度		
患者数	人	外来延患者数	54,939	55,900	58,426	104.5%	69,000
		外来一日平均	226.1	230.0	242.0	105.2%	285.1
		入院延患者数	14,561	16,425	15,940	97.0%	17,520
		入院一日平均	39.9	45.0	43.7	97.1%	48.0
病床利用率	%	病床利用率	66.5	75.0	72.8	97.1%	80.0
救 急	件	救急車受入件数	326	350	429	122.6%	530
	%	救急車受入率	62.0	65.0	64.0	98.5%	75.0
ドック・健診	件	件 数	4,830	5,000	4,156	83.1%	5,600

② みまき温泉診療所

平成31年度に常勤医師2人体制となって以降、患者数は順調に伸びており、外来患者数は106.6%、訪問診療患者数は128.6%と、いずれも計画を達成しました。

項目	内 訳	令和2年度 実績	令和3年度			令和6年度 最終目標	
			計画	実績	達成度		
患者数	人	外来延患者数	10,506	10,600	11,296	106.6%	11,200
		外来一日平均	39.3	39.7	42.4	106.8%	41.5
		訪問実患者数	650	700	900	128.6%	1,000

③ 助産所とうみ

全国的な少子化やハイリスク分娩の増加等により助産所が選ばれなくなってきていることに加え、コロナ禍による産み控えもあり、分娩件数の減少が止まりません。分娩数は計画値の91.7%でした。

項目	令和2年度 実績	令和3年度			令和6年度 最終目標
		計画	実績	達成度	
分娩件数 (件)	60	60	55	91.7%	60
産後ショートステイ (延日)	249	250	229	91.6%	700

(2) 経営収支【基準外繰入金】

経営収支に関する目標値は、基準外繰入（＝市単独の経営補助金）を1億6千万円以下に抑えることでしたが、繰り入れることなく経営収支の黒字を確保しました。

項目	令和2年度 実績	令和3年度			令和6年度 最終目標
		計画	実績	達成度	
一般会計からの基準外繰入の額	1億6千万円	1億6千万円以下	0円	達成	1億円以下

2 評価

経営改善計画の目標値に対して、患者数等の一部の事業に未達成のものがありますが、経営収支については目標を達成しました。

令和3年度評価	
---------	--

※ A：順調、B：概ね順調、C：やや遅れている、D：遅れている

令和6年6月27日

東御市長 花岡利夫様

東御市病院等運営協議会
会長 武藤芳照

東御市病院事業 第3次経営改善計画の進捗評価について（答申）

令和6年6月27日付け6病第10号により、当協議会に諮問のありました「東御市病院事業第3次経営改善計画の進捗評価」について、慎重に審議をした結果、下記のとおり答申します。

なお、下記のとおり附帯意見を付します。

記

諮問された進捗評価については、「B」が妥当である。

附帯意見

- 1 医師の増員をはじめとする診療体制の充実・強化を一層進められたい。
- 2 市民・地域への広報活動の拡充を図られたい。
- 3 次世代人材との交流の機会の増大と充実を進められたい。